

TO : VSスカウト全員、リーダー、保護者、来期にVSに入ってくるBS

<富士章を目指しているあなたへ>

富士章を目指している君へ、富士章の意義、良さと共に 君たちの今後の活動に役立つようアドバイスを送る。

①意義

よく言われる事だが、富士章はボーイスカウト活動の通過点である。ゴールではない。

②富士章授章資格

課題をこなすことはもちろんだが「やる気のある人」「心から取りたいと思っている人」以外は厳しいことを言えば、目指すのをあきらめたほうがよい。 熱意がないとかなり授賞式で浮く。

③良さ

ここでは全てはかききれませんが、以下のようなことでしょう。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 : 顕彰式に参加できる | 4 : 富士章受賞者掲示板への参加 |
| 2 : 表敬訪問ができる | 5 : 全国のスカウトと友達になれる |
| 3 : 富士章限定グッズがもらえる | 6 : 優遇 |

etc.

④プロジェクトについて

<量> 全国の人達(受賞者)の平均は僕の寄り少し少ない程度でしょう。

<質> 質はかなり高いです。 やる人はかなりやっています。

<アドバイス>

まず、内容はきちんと書くべきです。

簡単に済ましておくと、かなり浮きます。

皆さんがやっている、「モンゴル」と「スキューバ」はこれからの内容次第では、かなり よくなるのではないかと思います。

ただ、受賞者の中にも「海外に一人旅」のようなプロジェクトをやった人も結構いますので・・・
本当はリーダーと一緒に行くのではなく、自分達だけでいくと、かなりよくなり、日連でも優秀プロジェクトに入ると思いますが。 ただ大変でしょう。

またモンゴルに行った後、もしくはスキューバをやり終わった後の報告書作りは計画の2～3倍は時間と気合いをいれて すばらしいモノにしてください。 レポートの質は計画よりも報告で決まるといっても過言ではないでしょう。

富士章をとるためには3つのプロジェクトをとる必要がありますが、そのうちの日筒は個人プロジェクトをやるべきです。 今回の受賞者のプロジェクト一覧を見ても、3つ全てグループプロジェクトの人はほぼ皆無に等しいです。

世界ジャンボリーのプロジェクトですが、みんな行ってきたことを書いているだけだろうと思ってましたが、話を聞いてみると、日本に帰ってから、何かをやっている人が多くて、比重もWSJと日本でやったことが 5 : 5くらいでした。 何か少しはやると思います。

奉仕のプロジェクトは、「奉仕をするのは ボーイスカウトの基本なので、その後、自分が何をしたのかを重視しなければならない」と先輩のスカウトが言ってました。

プロジェクトにただ奉仕したことを書くだけだと、多分、アイスブレイキングの際に笑われると思います。

とにかく、西村隊長とアポを取って、より質の高いレポートをつくれるよう努力してください。

最後に、グループプロジェクトをやる際の注意として、しっかり心得ておいてもらいたいこととして、友達と似たようなレポートを作らないようにということです。 これは分科会でも話すように言われました。 要は 感想だけ変えるだけというレポートは最低だと言うことです。

同じ事をやっても、報告やまとめは絶対に変えて下さい。
受章者は皆言ってますが、計画・実行（活動）はグループですが、報告はあくまで個人作業です。
同じ用紙を使って良いのは計画くらいです。
僕の友達では、グループプロジェクトでもプロジェクト名は変えたそうです。
静岡県連の恥とならないよう、手を抜かずに取り組んで下さい。

⑤技能章など

やはり、タスキの人が多かった。 またプロジェクトアワードは3～4が平均的でした。

⑥授章式について

かなり楽しく、NJやWSJの10倍の友達ができます。
また、NJ並みにおもしろいです。
また国会議員から名刺をもらうことができます。
ただし、日連主催の授章式は今回で終わりなので皆さんは行くことができません。残念でした。
県連主催のもので我慢しましょう。 また表敬に行けることになると、スカウト会館に泊まることになるとは思いますが、かなりボロイです。 覚悟が必要です。

<メッセージ>

大変だと思いますが、富士スカウトになることを夢みてがんばって下さい。 そして、素晴らしいレポートをつくって下さい。

P. S. もし皆さんのうち 誰かが代表表敬に選ばれたら、日連のスタッフとして僕もいきたいなあと思っています。
皆さんが富士スカウトになるのを首を長くして待っています！

鈴木 駿

+α

<ビーバー～ボーイの人たち+リーダー+保護者>の方々

まずVSまでやり続けること、そして、ビーバーからBSまでの間にしっかりとボーイスカウトの活動を楽しむこと。 このことが、VSで立派なレポートを書くことができ、かつボーイスカウトの本質を理解するための最良の道ですから。